



ふらっと通信 第152号

令和5年3月23日発行



みんなネット



HP



FB

発行：南房総市富山地域づくり協議会「ふらっと」
〒299-2216 南房総市久枝327
(富山地域センター内)

TEL：0470-57-3000 / FAX：0470-57-3002



参加者募集 ふらっとフットパス89



徳川家康の先祖と同じ先祖を持つと言われる酒井家：勝山藩ゆかりの地を巡ります

今回のフットパスは、NHK大河ドラマ「どうする家康」にちなみ、酒井家：勝山藩ゆかりの神社やお寺を巡り、水戸黄門が勝山へやってきた理由も考えます。

4月3日(月)
から申込受付



期 日 令和5年4月26日(水) 雨天の場合は、28日(金)に延期の予定
※体調不良の方の参加はご遠慮ください。

募 集 30名程度

集 合 富山岩井運動場(旧岩井小学校：南房総市市部276)に8時40分までに集合
※8時40分までに集合し、岩井駅9時6分発の上り電車に乗ります。

参加費 500円(お土産代、資料代、保険料ほか)

持ち物 電車賃(150円)、飲み物、保険証、雨具など

コース (約8Km)

集合場所→岩井駅発→安房勝山駅下車→勝山遊園地跡地→勝山漁港経由→勝山陣屋址→
加知山神社→勝山学園下経由→長林寺→検儀谷経由→市部天満神社→集合場所
(11時50分頃解散)

参加申し込み 富山地域づくり協議会「ふらっと」☎0470-57-3000(平日のみ)

第2回 初心者向けライター講座を実施しました

2月5日(日)に続き、3月5日(日)に「第2回初心者向けライター講座」を実施しました。第1回は、南房総市在住ライターの鍋田ゆかりさんを迎え、ライターへの道のりや情報発信について学びました。今回行った講座は、実践編に進む第一歩としてコンテンツ管理システム(CMS)のWordPressの説明の後、「ふらっとHP」の寄稿者登録とテキストの基本構造などを学びました。今後は、実際に記事を書いて寄稿登録をするステップに進む計画です。



令和5年4月の富山地域内の活動(3月8日現在の情報です)

日	曜	活動・主催 (開催については主催者にお問い合わせください)	場所	時間
1	土	岩井海岸ビーチクリーン ※雨天中止 080-8051-6039 iPLANNER 渡辺	岩井袋側駐車場	6:00~ 30分程度
6	木	岩井駅前公園美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)	JR岩井駅前公園	9:00~
13	木	岩井駅構内花壇美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)	JR岩井駅	9:30~
15	土	岩井海岸清掃(久枝1・2、3観光) おはなしだいすき(あひるの会)	岩井海岸 岩井コミセン	8:00~ 10:00~
20	木	富山山頂美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)	集合：南房総市駐車場	9:00~
21	金	おはなし会(あひるの会)	富山小学校	8:00~
22	土	ふらっと通常総会	岩井コミセン	午後
27	木	岩井川親水公園美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)	岩井川親水公園	9:00~

サロン開催予定	場 所	開催日・時間	問合せ・備考
茶の間(久枝区)	久枝青年館	毎月第1・3火曜日 13:30~15:00	090-2328-8934(福原)
市部みんなのたまり場	市部青年館	毎月第2・4火曜日 10:00~14:00	090-5505-7022(吉澤)
みならく出口	高崎出口青年館	毎月第2・4木曜日 13:30~15:30	
いのばた	井野集会所	毎月20日 13:30~15:30	
さろん平久里	平群コミセン	毎月第2・4金曜日 10:00~12:00	
だんらんカフェ(犬掛)	古民家カフェ 「田舎の家」	毎月第3木曜日 13:30~15:00	090-8963-5674(前田)
山田のかかしサロン	山田青年館	毎月第4水曜日 13:30~15:30	090-1556-4041(川名) ※山田区民限定

※サロン参加の際は、感染防止のためマスク着用をお願いいたします。

※「岩井コミセン」は富山岩井コミュニティセンター(久枝) 「平群コミセン」は富山平群コミュニティセンター(平久里中)

2/28「ふらっとフットパス87」を実施しました



出発前の体操 ……▶ 花立峠の子安地藏菩薩 ……▶ ターゲットボードゴルフ場で休憩 ……▶ 四阿に向かう



唐山道途中の広場 ……▶ 四阿に到着 ……▶ 険しい道のりを天神社へ向かう ……▶ 出発地へ無事到着

安房国札観音霊場を大正時代の絵葉書で巡る

安房の国札三十四ヶ所観音霊場巡礼は、鎌倉時代、後堀河天皇在位の貞永元年（1232）に悪疫が流行し、飢饉にも襲われるなど、世情が惨憺たる有様だったことに心を痛めた時の高僧たちが相図って、安房国内に奉安する観世音菩薩にご詠歌を奉納し、厨子の帳を開いて巡り、拝んだことに始まるといわれています。令和3年丑歳御開帳が新型コロナ感染拡大防止の観点から中止となり、今回は令和8年の牛歳御開帳が予定されています。ふらっと通信では、大正2年発行の絵葉書で安房国札観音霊場を巡りたいと思います。

※説明文は安房国札観音霊場会資料より抜粋

第一番 補陀洛山 那古寺 / ふだらくは よそにはあらじ 那古の寺 岸うつ波を 見るにつけても



安房国札三十四霊場の打ち始めの第一番所であると同時に坂東三十三霊場・第三十三札所の結願寺としても知られています。坂東三十三霊場は観音信仰者であった源実朝の時代に成立。鎌倉の杉本寺から始まり那古寺で結願する、約1360^里に及ぶ道の終点となる寺です。

開山は養老元年（717）。元正天皇が病に伏した折、行基菩薩が海から得た香木で千手観音菩薩を彫り、平癒を祈願したところ、たちどころに回復。その報謝として建てられたといわれています。その後、石橋山の合戦に敗れ当地に逃れた源頼朝が、再興を祈願し七堂伽藍を建立。足利尊氏や里見義実も相次いで信仰を捧げたとのことです。

第二番 潮音山 新御堂 / にいみどう みあげて見れば 峰の松 くびこいつるに かめいどのみず



那古から三芳を通り、丸山・和田に抜ける県道を行くと左に曲がれば旧新御堂跡地、右に曲がれば新御堂という地点があります。この道に佇むのが、正方四面の石塔の三面に二体ずつ立像が彫られた角柱六地藏です。生き物が輪廻する六つの世界（六道輪廻）、天上・人界・修羅・畜生・餓鬼・地獄の入口にいて、人々を救うとされるお地藏様。墓地や寺の入口など、あの世とこの世の境界地に建てられ、いまも人々を見守っています。この六地藏を右に曲がれば亀ヶ原八幡神社があり、その奥に現在の新御堂があります。元々那古と三芳をつなぐ県道の北側、青木根の中腹にあった新御堂。関東大震災で倒壊した秀満院という寺の境内に越してきたのが昭和42年（1967）のこと。

第三番 船形山大福寺 崖観音 / ふなかたへ 参りて見れば がげづくり 磯うつ波は ちよのかずかず



切り立つ崖の途中に、張り出すように造られた舞台づくりの観音堂。鏡ヶ浦の湾頭にそびえ立っていることから、通称「崖観音」と呼ばれています。

本尊の十一面観世音像は養老元年（717）、行基菩薩が東国行脚の際、船形山中腹の巖窟に漁民の海上安全と豊漁を祈願して彫刻したもの。背後の崖面に石の厨子を作り、像容を浮き彫りにした磨崖仏です。

この十一面観世音像は風化が激しいものの、左手に水瓶を持つさまや着衣のひだが確認できます。膝の下に太いひも状のひだを作り、腰の幅を広くしたスタイルは平安時代中頃のもの。断崖の舞台づくりの観音堂ができたのは、江戸時代に起きた元禄地震の復興の時です。

富山学園で「6年生を送る会」が行われました

富山学園で「6年生を送る会」が3月2日(木)に行われました。「ありがとう！感謝をこめて」と題し、9時から入場・セレモニーが行われた後、今までは8年生が演じていた「南総里見八犬伝 "say say トミー"」を4年生が演じました。続けて、1年生の「思い出のマーチ」、2年生の「ナンバーワンは6年生!」、3年生の「富山小の6年生って?」、5年生の「ドラえもん と マリオの大冒険」が披露されました。最後に6年生の「在校生へたくす思い」が発表と校長先生の話で締めくくられ、当日のプログラムは終了となりました。4月から、6年生は7年生（中1）に進学しますが、これからも温かい目で後輩を見守っていただきたいと思います。



4年生が演ずる「南総八犬伝saysayトミー」

送る会終了後、在校生の持つアーチの中を退場する6年生

富山学園7年生より災害ボランティア講習会の投稿

富山学園7年生より、12月から3回に渡って実施された「災害ボランティア講習会」の記事の投稿がありました。多くの投稿の中から、太田煌理さんと、高梨安弥佳さんの記事を紹介します。



災害に関する基礎知識を学ぶ

十二月二十日(火)、一月二十日(金)、二月十日(金)に富山学園で七年生が災害ボランティア講習会を行いました。社会福祉法人南房総市社会福祉協議会の人と千葉ボラサポートの星孝芳さんに災害に関する基礎知識、避難所の役割、身近なもので作る災害グッズ、クロスロード(避難所バージョン)、ボランティア活動に関するお話をいただきました。災害グッズでは、新聞紙で作るスリッパを教えていただきました。避難所、家でも災害時では便利だという声が上がられていました。クロスロードでは災害時どう判断するかということをお題を見てYes/Noのカードを使い選んだ理由をグループで話し合っていました。こういう風に子供でも役に立てるようなことが多くあることを学んでいました。みなさんも避難場所、家でできることを家族や友達と探してみようかどうか。

太田煌理



クロスロード・災害グッズ作り

十二月二十日から三日にわたり富山学園で災害ボランティアの講習を受けました。社会福祉協議会の方々に来ていただき、話をきいたり、自分達で災害について考えたりしました。

一回目は災害に関する基礎知識と災害によってどんな人が困るのかについて学びました。

二回目は主に避難所の役割について話をききました。また、実際に新聞紙でスリッパを作ったり、その状況をわが事と考え決断するクロスロードをやったりしました。

三回目は地域とボランティアについて講師の星さんから話をききました。ボランティアは知っていたけど実際にどんな事をするのかについては初めて知ったので、知識を深めることができました。

三回のプログラムを通して自分達の地域と災害に対する関心が高まりました。

高梨安弥佳